



平素より十六銀行をご利用いただき誠に有難うございます。

皆様に、当行に対するご理解をより一層深めていただくため、本年もディスクロージャー誌を作成しました。本誌では、平成18年度の業績を中心に、経営方針、最近の取り組みや話題、営業内容などについてわかりやすい説明に努めました。

是非、ご一読いただき、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、金融機関を取り巻く環境をみますと、多くの金融機関が成長戦略を標榜するなか、競争が一段と激化しております。また、金融商品取引法の全面施行を間近に控え、利用者保護の要請に応じていくためにも従来に増して内部管理態勢の充実が求められております。

当行におきましても、着実な発展を遂げるため、熾烈な競争を勝ち抜き、収益力を一層強化するとともに、健全性のさらなる向上を図っていくことが重要な課題であります。また、多様化・複雑化するお客様のニーズに的確に対応するため、コンプライアンス態勢をより強固なものとしていかなければなりません。

かかる課題に対し、当行は、第10次中期経営計画に基づき、金融サービス業としてお客様に真に満足していただけるよう、サービス・事務・コンプライアンスなど、あらゆる分野における品質の向上に努め、収益力・健全性を兼ね備えた「地域において圧倒的な信頼が得られ、親しまれる銀行」を目指して取り組んでおります。とりわけ、お客様からの信頼確保の基礎となるコンプライアンス態勢を万全なものとするべく、内部管理態勢の強化・充実に努めております。

こうした取り組みを通じて、本年10月に迎えます創立130周年を一つの節目とし、将来にわたる継続的な発展を目指し、一層の企業価値の向上に邁進してまいりたい所存であります。

皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成19年7月

取締役頭取

**小島 伸夫**